



Little Diamonds

YOUTH

プリンスリーグー進一退の戦い 通算3勝1分け3敗で現在7位

浦和レッズユースは、4月26日(日)から5月17日(日)までにJFAプリンスリーグU-18関東2009の6試合を行った。

このうち5月3日(日)に行われたジェフユナイテッド市原・千葉U-18との試合では、DFからのビルドアップでしっかりとつなぎ、主導権を握る好ゲームを見せ、GW中に会場を訪れた約250人の観客を沸かせた。結果は、前半30分に石沢が先制するも、後半8分に一瞬の隙を突かれて追いつかれる展開となったが、最後まで目指すサッカーをやり続けたレッズは、後半40分に再び石沢がネットを揺らして2-1と勝利した。

また10日(日)に行われた東京ヴェルディユースとの一戦は、互いに譲らない拮抗したゲーム展開となったが、集中したプレーで我慢強さを見せたレッズが後半残り4分にチャンスを迎え、石沢が決勝ゴールを決めた。

こうした接戦を制する勝負強さを見せた一方で、13日(水)には、昨季公式戦の対戦で一度も勝てなかった三菱養和SCユースに、セットプレーからの4失点を含め0-5の大差で敗れるなど課題も見せている。

レッズユースは、通算3勝1分け3敗、勝点10、得失点差-4で、1試合未消化ながら7位につけている。一進一退の厳しい試合が続くなか、7位以上が得られる高円宮杯第20回全日本ユース(U-18)選手権の出場権や個人のレベルアップを目指し、残りの5試合を一つずつ戦っていく。



後半2分、CKからヘディングで追加点を挙げた大里康朗(517 / 鹿島学園高校)



矢島慎也
(517 / 鹿島学園高校)



鈴木大輝
(517 / 鹿島学園高校)

JFAプリンスリーグU-18関東2009 第4節	
2009.4.26(日)13:00 県立保土ヶ谷公園サッカー場	
桐光学園高校	浦和レッズユース
2 前1 後2	1 前1 後0
GK	小笠原正人
DF	森田健介 (畑本時央 / 46分) 広瀬健太 (大里康朗 / 61分) 岡本拓也 鈴木大輝
MF	池西 希 石沢哲也 (若井祥吾 / 55分) 岡田昌巳
FW	矢島慎也 (矢島倫太郎 / 55分) 眞本啓太 磯部裕基
レッズ得点者	眞本 (30分)

JFAプリンスリーグU-18関東2009 第5節	
2009.5.3(日)13:30 埼玉スタジアム第3グラウンド	
浦和レッズユース	ジェフユナイテッド市原・千葉U-18
2 前1 後1	1 前0 後1
GK	小笠原正人
DF	森田健介 (大里康朗 / 89分) 広瀬健太 岡本拓也 鈴木大輝 (長谷川 凌 / 89分) 池西 希
MF	石沢哲也 (利根川良太 / 86分) 岡田昌巳
FW	若井祥吾 (矢島慎也 / 79分) 眞本啓太 (矢島倫太郎 / 79分) 磯部裕基
レッズ得点者	石沢 (30分、85分)

JFAプリンスリーグU-18関東2009 第6節	
2009.5.6(水)11:00 前橋育英高崎グラウンド	
前橋育英高校	浦和レッズユース
1 前1 後0	0 前0 後0
GK	小笠原正人
DF	森田健介 (大里康朗 / 81分) 広瀬健太 岡本拓也 鈴木大輝
MF	池西 希 石沢哲也 岡田昌巳 (矢島倫太郎 / 88分)
FW	若井祥吾 (矢島慎也 / 62分) 眞本啓太 (堀田 稜 / 59分) 磯部裕基

JFAプリンスリーグU-18関東2009 第7節	
2009.5.10(日)11:00 さいたま市駒場スタジアム	
浦和レッズユース	東京ヴェルディユース
1 前1 後0	0 前0 後0
GK	小笠原正人
DF	森田健介 広瀬健太 岡本拓也 鈴木大輝 (大里康朗 / 87分)
MF	池西 希 石沢哲也 岡田昌巳 (矢島慎也 / 85分)
FW	若井祥吾 (眞本啓太 / 89分) 利根川良太 (矢島倫太郎 / 73分) 磯部裕基 (堀田 稜 / 89分)
レッズ得点者	石沢 (86分)

JFAプリンスリーグU-18関東2009 第2節	
2009.5.13(水)19:00 NACK5スタジアム大宮	
浦和レッズユース	三菱養和サッカークラブユース
0 前0 後0	5 前1 後4
GK	小笠原正人
DF	森田健介 広瀬健太 岡本拓也 鈴木大輝 (大里康朗 / 45分)
MF	池西 希 石沢哲也 岡田昌巳
FW	若井祥吾 (矢島倫太郎 / 49分) 利根川良太 (眞本啓太 / 37分) 磯部裕基 (矢島慎也 / 67分)

JFAプリンスリーグU-18関東2009 第8節	
2009.5.17(日)13:30 NACK5スタジアム大宮	
浦和レッズユース	鹿島学園高校
2 前1 後1	2 前0 後2
GK	小笠原正人
DF	大里康朗 広瀬健太 岡本拓也 鈴木大輝 (若井祥吾 / 89分)
MF	池西 希 石沢哲也 岡田昌巳
FW	矢島倫太郎 (矢島慎也 / 71分) 眞本啓太 (森田健介 / 59分) 磯部裕基 (堀田 稜 / 86分)
レッズ得点者	石沢 (5分)、大里 (47分)

ビルドアップはできているが、最後のところで勝つ強さが欲しい

コース監督・堀 孝史

今季のチームは、粘り強さが感じられます。

そうですね。今年は、たくさん点が入っているわけではないので、そうするとやろうとしていることと違うことをしてしまう選手も出てきてしまうと思うんですけど、そうではなくて、やっぱりずっと続けていって、何回かのチャンスの中で決まっていって、一発を狙うよりも、そういう形かなと思ってやっています。



(53 / 千葉U-18戦)

していかないと、と思っています。

プリンスリーグでは個人の成長、チームとしての成熟のほかに、高円宮杯出場という目標があります。

リーグ戦ですから、ほかのところはどうなのかかわからないので、1試合1試合やっていくしかありません。相手も毎回変わりますから。だからこそ練習でどれくらいやっていくかということにもなります。良くなっている選手もいますけど、もっと自信を持ってやって欲しい選手もいます。選手たちも高円宮杯には出たいと思っているはずですが、自分自身が変わろうとしないと変わらないと思います。

第33回日本クラブユース選手権(U-18)関東予選日程

5月23日(土)vs ザスパ草津	(15:00/レズランド)
6月 6日(土)vs 川崎栗の木	(15:00/レズランド)
6月 7日(日)vs 栃木SC	(15:00/レズランド)
6月14日(日)vs 柏レイソル	(15:00/レズランド)
6月21日(日)vs 東京ヴェルディ	(15:00/レズランド)

6チームによるグループリーグ戦を行う。上位2チームは関東ベスト8が決まり全国出場決定。グループ3位は、他のグループ3位チームとの関東第9代表決定戦に回る(4チームによるトーナメント戦)。

使う選手やポジションをあまり固定していないようですが、いろいろ試している？

試しているということもないですが、その選手の得意なところなどを考慮して、そこがいいかな、と思って決めたり、その近くにいる選手によって決めたりしています。

昨年より組織的なサッカーをしている印象ですが。

僕の感覚では、後ろから作っていくということに関しては去年よりも良いくらいではないかな、と思っています。ただ相手に前から来られると難しくなるところがありますから、そこは課題です。それと、サッカーはその先が必要です。守備でも攻撃でも、ボールのところできっちり勝てないといけません。そこを強く



(510 / 東京Vユース戦)

チームの柱になっていけたら

MF 池西 希 (3年生)

個人的なものをもっている選手が去年より少ないので、全体でパスを回しながら試合を進めています。チームとして良い感じでやれていますし、やろうとしていることは間違っていないと思いますが、点がなかなか取れないです。全国で一番になりたいという目標はありますが、1試合ずつ勝っていくしかありません。自分は去年試合に絡めた分、今年は中心になっていかないといいかなと思っていますし、常に試合に出て、シーズンを通じてチームの柱になれるといいと思っています。



(517 / 鹿島学園高戦)

もっとシュートにこだわりたい

MF 石沢哲也 (3年生)

1年、2年のときにもずっとベンチに入っていたので、先輩たちがやってきたことを今年自分が発揮しないと、そのときの意味がないと思います。それはみんなに伝えていきたいです。今年のチームはパスは回せるんですが、ゴール前で我がままになる選手がいないので、もっとシュートにこだわらないといけません。自分ももっともっと動いてチームに活気が出るようにして、点にも絡んでいきたいです。チームとしては、負ける時が情けない負け方なので、もっと練習からしっかりやりたいと思います。



(53 / 千葉U-18戦)

出場機会増えた今年、点に絡む

MF 岡田昌巳 (3年生)

ここまで良いときもあれば悪いときもありますが、最終的には勝ち越して、できるだけ高い位置で終わるようになりたいです。昨年までは中盤に良い選手が多かったので、試合に出ることもあまりなかったのですが、今年からは出場機会も増えてだいぶ馴染んできたと思います。攻撃陣なのでできるだけ自分でも点を取って、アシストもし、勝利に貢献したいです。



(56 / 前橋育英高戦)

みんなでまとまっていければ

MF 利根川良太 (3年生)

初戦の鹿島戦は気持ちが入っていましたが空回りしてしまいました。三菱養和戦も勝ちたい気持ちを前面に出して戦ったんですが、0-5という結果になってしまって、個人的にもいつもどおりのプレーができなかったのは悔しいです。去年と違って爆発的な選手があまりいないですが、みんなでまとまっていけば上にもいけると言われていますので、まとまることを意識しています。みんなで勝てるようにしていきたいです。前のポジションなので、ペナルティエリアの付近ではどんどん仕掛けていって、点に絡めるようにしたいです。



(510 / 東京Vユース戦)

関東ユース(U-15)サッカーリーグ

横浜FC、東京V、川崎を撃破！
開幕から4連勝

浦和レッズジュニアユースは、4月25日(土)から5月17日(日)まで、いずれもレッズランドで2009年度関東ユース(U-15)サッカーリーグの3試合を行い、すべてに勝利。同リーグ開幕から4連勝とした。

このうち4月25日の横浜FCジュニアユース戦は雨の中、両チーム思うようにゲームを進められなかったが後半ロスタイムに中村駿介が決勝ゴールを挙げ競り勝った。5月3日(日)の東京ヴェルディジュニアユース戦は、カドコダイ・アシカンの先制ゴールでペースをつかむと、後半から出場した進昂平がハットトリックを決めるなど大量8得点で大勝。17日の川崎フロンターレU-15戦でも、佐藤大介、新井純平の両サイドバックがCKで得点するなどしてゴールを重ね6-1で快勝した。

レッズジュニアユースは開幕から4試合を終え、4戦全勝の勝点12、得失点差+16という好成績で現在リーグの首位。次節は6月7日(日)11時からレッズランドで大宮アルディージャジュニアユースと対戦する。



後半18分、1-1から勝ち越しゴールを決めた新井純平に駆け寄る佐藤大介(左) 進昂平(右)
(5:17 / 川崎U-15戦)



後半38分、この試合ハットトリックとなる3点目を決める進昂平
(5:3 / 東京Vジュニアユース戦)

関東ユース(U-15)サッカーリーグ 第2節	
2009.4.25(土) 11:00 / レッズランド	
浦和レッズジュニアユース	1 前0 後1 VS 前0 後0 横浜FCジュニアユース
GK	細田龍太
DF	新井純平 河野 翔 西澤秀平 佐藤大介
MF	西袋裕太 繁田秀斗 関根貴大(小峯洋介 / 56分) (進 昂平 / 70分) 立野峻平(相馬 慎 / 40分)
FW	カドコダイ アシカン 中村駿介
レッズ得点者	中村(79分)

関東ユース(U-15)サッカーリーグ 第3節	
2009.5.3(日) 11:00 / レッズランド	
浦和レッズジュニアユース	8 前2 後6 VS 前1 後0 東京ヴェルディジュニアユース
GK	細田龍太(吉野雅大 / 69分)
DF	新井純平 河野 翔(副島暢人 / 74分) 西澤秀平 佐藤大介
MF	西袋裕太(金野僚太 / 68分) 繁田秀斗 関根貴大(小峯洋介 / 52分) 立野峻平(進 昂平 / 40分)
FW	カドコダイ アシカン 中村駿介(田口翔太郎 / 69分)
レッズ得点者	カドコダイ2(7分、46分)、新井(18分) 進3(42分、70分、78分)、中村(56分) 田口(79分)

関東ユース(U-15)サッカーリーグ 第4節	
2009.5.17(日) 11:00 / レッズランド	
浦和レッズジュニアユース	6 前1 後5 VS 前0 後1 川崎フロンターレU-15
GK	細田龍太
DF	新井純平 菅藤一穂 西澤秀平 佐藤大介
MF	小峯洋介 繁田秀斗 関根貴大(進 昂平 / 40分) 相馬 慎(西袋裕太 / 40分)
FW	カドコダイ アシカン 中村駿介(立野峻平 / 61分)
レッズ得点者	佐藤(19分)、新井(57分) 繁田2(66分、76分)、カドコダイ(73分) 進(77分)

目指す結果残すために練習を

FW 蒼本啓太(3年生)

もっと自分がチームに貢献できていれば、勝ち星が増えていたと思います。今年は去年とはまったく違うチームですし、タレントもいないですが、その分みんなて取った点だという意識が強いし、自分の点ではなくて、チームの点だと思います。目の前の1試合ずつを見据えて、全勝するつもりで練習からやっていかないと目指している結果は残せないと思います。先発で出たいという気持ちはありますが、ベンチに入ってもチームが勝つために何ができるかという気持ちです。



(4:26 / 桐光学園高戦)

サイドからチャンス作っていく

DF 森田健介(3年生)

去年も少し試合には出してもらっていましたが、今季はしっかり試合に出られるようにやっています。自分の調子は良い方だと思っています。印象深いのは、初戦の鹿島戦です。先制されて、そのあと相手の退場などもありましたが、逆転勝ちできて良かったです。残り試合全部勝つことを目標にしていますが、その中で自分がサイドからできるだけチャンスを作れるようにしたいです。



(5:10 / 東京Vユース戦)

全員でゴールに向かう、 ふだんの姿勢が 結果に表われている

ジュニアユース監督・名取 篤

ここまで好成績ですが。

選手に言っているのは、ヴェルディだから、FC東京だからとかいうのはやめて、毎試合自分たちが目指しているサッカー、全員がゲームに関わりながらゴールを目指し、全員で守備をするという狙いでやろうと。例えば横浜FCにはラッキーな点で勝ちましたが、でも、それも彼らの姿勢というか、誰も引き分けて終わろうと思っていなかったし、そういう意味では、ふだんからゴールに向かう、そういう姿勢が結果に表われていると思います。



雨の中、ロスタイムに決勝点が入った横浜FCジュニアユース戦 (425)

選手が大勢いて起用に困りませんか。

3年生が21人いるので、なるべく公式戦を経験させてあげたいと思いますが、3年生だから出られるということではなく、2年生も経験を積ませたいですね。1週間頑張った選手、元気があった選手を起用していきます。今年から試合に始まった選手は、やっぱり最初は緊張していましたよ。でも、ミスを恐れていないというのはあります。ミスを恐れて自分のプレーが小さくなったり弱気になったりというときは交代させます。それも彼らにはプラスになるでしょう。

公式戦のあとに、相手ともう1本、練習試合をやっています。

あまり公式戦に出ていない選手たちが出るんですけど、消化試合というのではなく、みんな本当に一生懸命やってくれているんですね。公式戦に出られない選手は悔しいという気持ちがあると思いますが、その選手たちが頑張ってくれてうれしいですね。

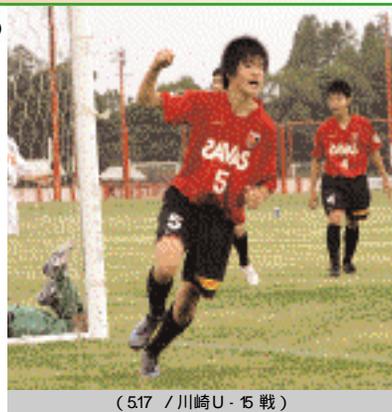


川崎U-15戦で2点を挙げた繁田秀斗 (517)

チームの元気の良いことが一番

DF 新井純平 (3年生)

チームとしては、良いところで点も取れていますが、失点もけっこうあるので、そこをなくしたいと思います。自分は去年から出ているので、経験とかを生かして、みんなの緊張などもほぐしてあげたいと思いますし、良いチームにしていきたいと思っています。今年のチームは元気が良いのが一番良いことです。アップから元気よくやって、試合に元気になっていきたいと思っています。自分のプレーとしては持久力はあると思うので、声を出しながらどんどん上がっていき、守備もできて攻撃にも参加できる選手になりたいと思います。

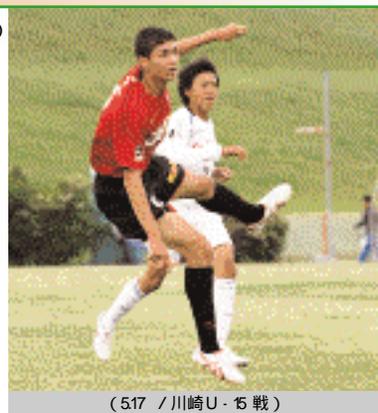


(517 / 川崎U-15戦)

Jのチーム相手に連勝できた

FW カドコダイ アシカン 吾連 (3年生)

Jリーグのチームがたくさんいる中で、連勝できたのは良かったと思います。自分としてはチームのために身体を張って、流れが悪いときなど引き戻したりという仕事ができたとします。まだまだですけど、高さについては得意ですけど、ドリブルがうまくないので練習していきます。またFWには厳しいマークがつくので、キープなどもしっかりしていきたいです。試合前には相手のDFに絶対勝つとか、点を決めてやろうとか、気合を入れて臨んでいます。自分も点に絡むプレーをしていきたいですし、出られない人の分まで頑張らないといけなと思います。

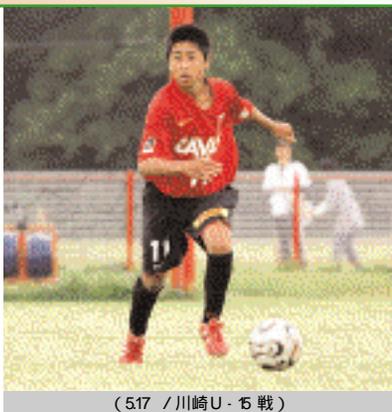


(517 / 川崎U-15戦)

みんなで一体感を出していきたい

DF 佐藤大介 (3年生)

チームは、練習から良い感じに来ていていると思います。自分の調子は良いというほどではないですが、気持ちで頑張っています。足とかも速くないし体力もあまりないですが、それを弱みにしないで、気持ちでやっていきます。今年のチームはけっこうまとまりがあって、一体感ができていると思います。今年はいろいろな大会で優勝して、みんなでもっともっと一体感を出していきたいと思っています。これから体力を落とさずにずっと試合に出られるようにしていきたいです。



(517 / 川崎U-15戦)

みんな最後まで諦めなかった結果

DF 西澤秀平 (3年生)

最後まで諦めずにベンチも含めてみんなで一緒に戦ってきたから結果がついてきたと思います。自分は去年も出たので、みんなに声をかけて引っ張っていかないとけないと思っています。今年のチームは誰か1人でなく全員が絡んでいくサッカーです。自分のプレーとしてはまだ課題がたくさんあります。ヘディングの競り合いなども全部勝っているわけではないし、1対1のとき、あせるところもあるので落ち着いてやれるようにしたいです。関東リーグは試合時間も40分と長いので、慣れていかないとけないです。



(517 / 東京Vジュニアユース戦)